

神栖市のピーマン生産者にスマート農業機器導入に向けた炭酸ガス施用効果を紹介しました

令和7年9月24日、10月10日に神栖市内において、JAなめがたしおさい波崎青販部会が、安全・安心で収益性の高いピーマン生産を目的とした講習会を開催し、部会員189名が参加しました。

ピーマン産地では、炭酸ガス発生装置の導入が進み始め、これまで導入をしていなかった生産者も同装置への関心が高まっています。普及センターでは、炭酸ガス発生装置等のスマート農業機器の導入を推進しており、「ピーマンでの炭酸ガス施用効果～スマート農業機器導入に向けて～」と題して、炭酸ガス施用がピーマンの収量を増やす生理的な仕組みや、効果を発揮するための留意点などを講話しました。また、炭酸ガス施用に既に取り組んでいる生産者の収量調査の結果や費用対効果をグラフ化して事例紹介をしました。

炭酸ガス施用に対する生産者の関心は高く、「効果がわかったので導入してみたい」、「今年中に炭酸ガスの機械を自己資金で入れることにしたよ」といった声が聞かれました。

また、鹿行農林事務所農業振興課からは、安全・安心なピーマン生産のため、「農薬の適正使用」について講和し、農薬散布をするときは周囲への飛散防止を徹底することや使用した機具をよく洗浄すること等の重要性について意識を高める機会となりました。

普及センターでは引き続き、炭酸ガス施用技術等のスマート農業の推進を図り、ピーマン生産者の所得向上を支援していきます。

銚田地域農業改良普及センター(成長産業)



ピーマンの炭酸ガス施用技術講習を受けている様子